【ドバイ 2019 世界パラ陸上競技選手権大会・第 8 日（11 月 14 日午後）】出場選手コメント

◆女子 400m　T20　予選

・外山　愛美（宮崎銀行）

悔しい。決勝に残れたけど、嬉しいような、悲しいような気持ちです。アメリカの選手に食らいつくことを目標にしていたのにできませんでした。アメリカの選手とは初めて一緒に走ったけど、速すぎて怖かった。日本新記録を狙っていましたが、タイムもよくなくて落ち込んでいます。

緊張して気分が悪くなりました。待ち時間が長く、早く走りたいと思った。予選では悔いの残る結果だったので、決勝では悔いのない結果を残したいです。

◆男子 1500m　T20　決勝

・赤井　大樹（十川ゴム）

4 位以内に入れなかったので、悔しい思いがあります。ラスト 1 周に入る前に、積極的に前に出たのはトップに食らいついて、ペースを上げられたときでも、しっかり対応できるようにと思ったから。展開はよかったですが、ラストを上げることができなかった。
力が足りませんでした

海外選手はラストが速いので、僕もラストを磨きたい。これか、ラスト勝負が強くなる練習をしたいと思います。

◆女子 100m　T52　決勝

・田中　照代（TIR）　銀メダル

スタートは勝っていたのに残念。スタートがあそこまで行けるなら、何とか食らいつけるかなと思う。とりあえず、シーズンベストも出たし、あとはこの先、どうパワーをつけていくかで変えていけるかなと思っている。自分自身を変えていかないと、自分を信じてやっていかないと勝てないと思うので、そういう風に仕上げていきたい。

何年やっても緊張するけど、スタートがきれいに出られてよかった。海外に比べて腕は短いし、身長は低いし、あとはどうやってそれをカバーするかというと、パワーしかない。走り込んでいけば、もっと行けるかなと思っています。

前回のロンドン大会は 3 人参加でノンメダル。今回は 5 人でメダルイベント。（こうして

出場して）まだまだやれるよというのを伝えることで、もう少し増えたらなと思っています。ここまで来たら、パラリンピックに出たい。これが集大成だなという思いです。

◆木山　由加（オー・エル・エム・デジタル）　銅メダル

・2 年前のロンドン大会では無観客試合だったので、そのときを思えば歓声もあって、走れてよかったです。

目標としていたタイムは出せなかったけど、スタートとかの感覚はよくなくて、いまいち伸びを感じなかった。でも、国内の大会よりは少しずつよくなってきているので、もう少しがんばりたい。3 位になって、メダルを取れて嬉しいが、タイムを出せなかったのが悔しいです。ものすごく緊張しました。スタートラインに立って深呼吸したら、レースに集中できましたが、ノンメダルレースのときとは全然心境が違うので幸せでした
こういう中で走れたことが。東京でも走りたいですよね。

5 選手という人数については、まさか、もう一人出てきてくれると思わなかった。ここが最後かもと思ったので、それはすごい嬉しかったです。これを機に他の国で出てくる可能性があるので、それプラス呼びかけもしていこうと思います。メキシコの選手は初めてで、練習のときはものすごい走っていたから、その時点で緊張して、やばいって思いながら。レースのときは自分のレースに集中できたからよかった。これからですね。

今後の目標は、前の二人の背中が大きいので、少しでも縮められるように、もっと努力したいと思いましたし、体調のことも考えてトレーニングしていきたい。とにかく、走るのが好きなので、走ることでアピールして参加人数を増やしたい。それはずっと変わらないので走り続けます。

（コメント協力：星野恭子）